

中国出張レポート



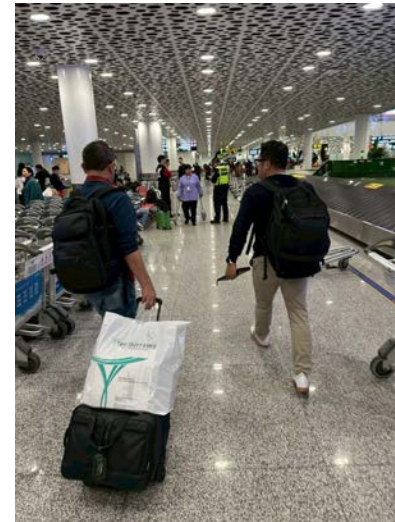
株式会社 TCJ

記事内容

深圳のTHINKCAR社に対して実績報告と来期の計画、及び支援の要望について議論すべく、年末の12月25日～30日に深圳・広州に出張してきましたのでご報告します。

会議の結果は非常に有意義で、代理店やユーザーの皆さんには3月ごろに新しい商品・サービスをご報告できる と思いますが、このレポートは少し業務を離れて「今の中国を知る」という内容でお時間ある時にご笑納いただければ幸いです。

(深圳空港の写真)



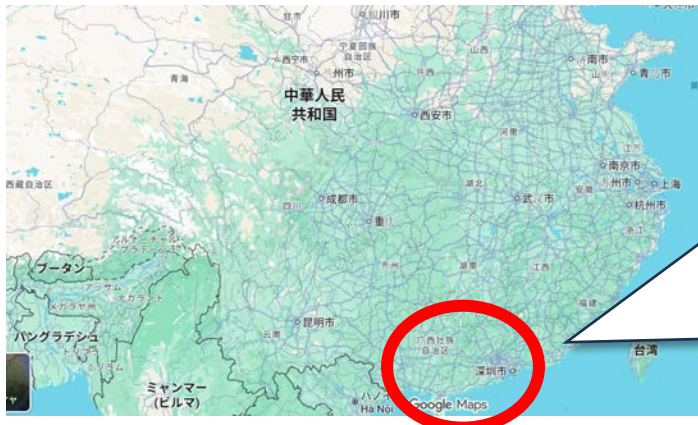
地図

広東省の人口は1億2780万人で日本とほぼ同じで最も人口の大きな省です。

(広州市は1900万人、深圳市が1800万人となります。)

また、**広東省のGDPは2.1兆ドルでカナダ(世界9位)と同じ** 規模です。

その中で、今回訪問した深圳はご存じの通り、BYD(世界最大のEVメーカー)／TENCENT(中国版LINE)／鴻海(アップル製造)／HUAWEI(世界規模の携帯メーカー)が本拠地を置く最も先進的な街で、人間の有史の中で最も速いスピードで成長した町らしいです。



中国車と日本車

前職でトヨタの中国 DLRを開発していた部署に所属していた私にとって今の光景は衝撃でした。広東省は以前から日本車が人気で特にトヨタ・ホンダが非常に人気で3割ぐらいシェアを誇っていましたが、今はドイツ車を含めあまり見ません。代わりに、小米(携帯会社)、BYD(元洗濯機を作っていた会社)、NIO(元自動車雑誌発行会社)、吉利(VOLVOの親会社)や見たことのないブランドの車両ばかりに代わっていました。

今後のトレンドを見極めていくうえでは皆さんにも見てもらいたい事実です。

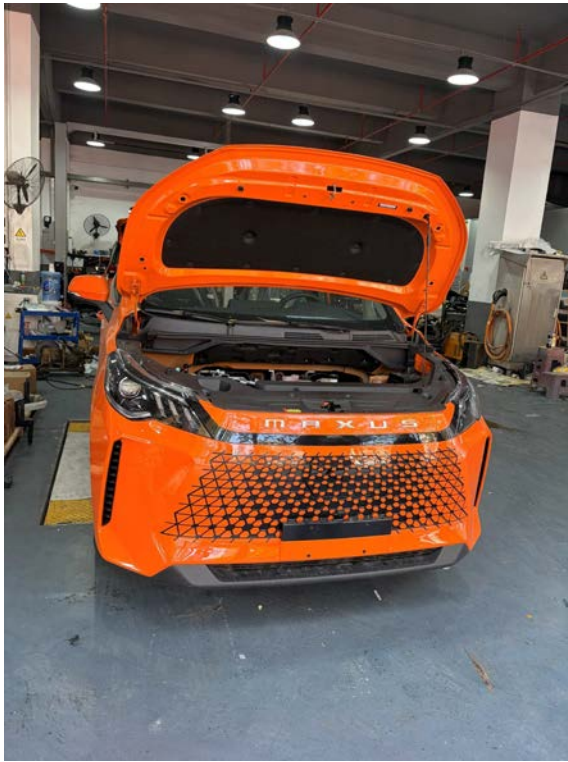
<ホンダとNIOと他のブランド> <ロボットも作っている小鵬集団の車>



<発売時爆発的に売れたが安全面が指摘され失速した小米の車>

上海汽車集團の電気自動車

上汽が英国の商用車ブランドLDVを買収して、ブランドを再構築した電気自動車の工場を見学した。中身は非常にシンプル、電気自動車の部品は本当に少ないです。



THINKCAR オフィス

THINKCARの本社にて
新しい製品とサービスの
打ち合わせを行いました。
事業は拡大傾向で、R&D部門
は南昌市に移転し、ソフトの
開発と改善に集中している
とのこと。今後さらに連携を
深めて皆さんによりよい
サービスを展開します。



THINKCARの新工場(準備中)

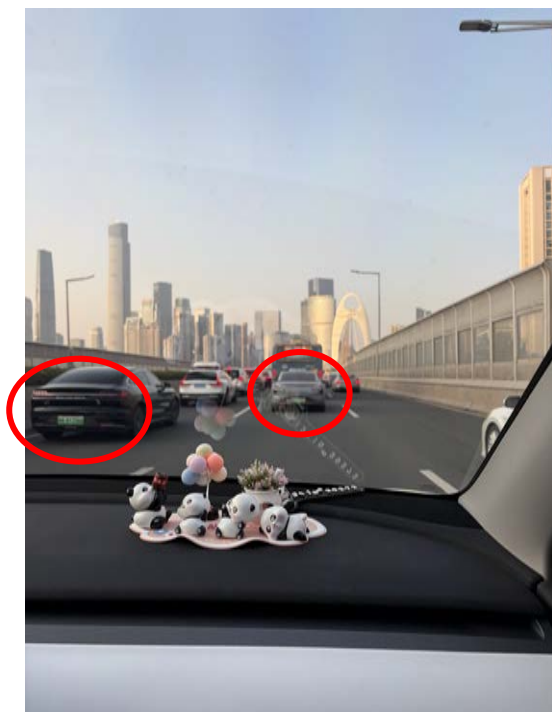
また、深圳市内に新しい工場兼倉庫を建設中でした。

ビル一棟を使って一階に製品を使ったサービスピットや組み立てライン、製品検査ライン等を作っていました。



広州

前職時代に駐在していた都市です。中国では上海、北京に次ぐ3番目の都市です。すでに発展している都市なので町の雰囲気は大きく変わってはいなかったですが、やはり写真で見れるようにほとんどがEV車両でした。(緑色のプレート)



総括

全体の景気としては以前と比べるとやはり悪い印象です。原因は不動産が大きいと感じますが、一方で中国の対外貿易黒字は過去最高です。

また、今回は実際には見れませんでした。ロボットやAIはYouTubeでも観れるように、おそらく製造ラインやAI技術の観点から今後さらに発展していくことと思います。

また、日本との関係でいうと、日本のトヨタ・ホンダのDLRは軒並み、撤退もしくは赤字の状態と苦戦を強いられています。

このような状況の中で、私たち日本人は一度この国に来て、実際に見たり人と話したりして、もっと交流したほうが良いかと思った次第です。

私は政治家ではなく商売人ですので、現在のトレンドを読んでより良い製品、サービスをお客様や部品商の皆さんに提供していくことに集中していきたいと思っています。

ありがとうございました。

Tcj